

訓練の実施方法（避難訓練）

※ 本内容はあくまで例です。
必ずしも本内容のとおり実施しなければならないというものではありません。

STEP 1

避難経路や誘導方法を確認

避難経路の確認

- ① 建物の避難口・避難階段・誘導灯等の場所を確認する
- ② 避難器具の設置場所・使用方法を確認する



避難誘導方法の確認

- ① 「火事だー」と周囲に火災の発生を知らせる
- ② 使用可能な避難経路を確認する（第1優先は階段避難）
- ③ 火災の発生した階とその1つ上の階を優先して避難誘導を行う
- ④ その後、上階の避難誘導を行い、最後に下階を行う
- ⑤ 逃げ遅れやけが人の確認を行う



通路等に火災発生時に避難の支障となる物品が置かれていないか、防火戸の閉鎖の支障となる物品が置かれていないか確認してください。

STEP 2

実践訓練

入居者や建物利用者を実際に誘導して避難させてください。



- ・ 誘導は曲がり角等で行うことが効果的です。
- ・ メガホンや拡声器がある場合は活用しながら、大きい身振り手振りで誘導しましょう。
- ・ ホテルなど、個室が多い建物で逃げ遅れの有無を確認する場合は、同じ部屋を何度も確認することがないよう、事前に確認済の目印を決めておきましょう。
- ・ 避難の際は、エレベーターを使用しないでください。
- ・ 一度屋外に避難したら、建物内に戻らないでください。